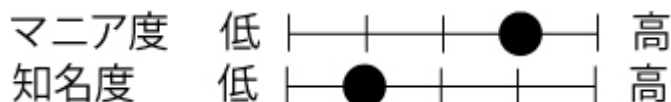


Tronographic / Boxidizer

トロノグラフィック / ボクシダイザー

■特徴

- ・ハイクオリティなギター用プリアンプ/オーバードライブ
- ・70年代のハイゲインソリッドステートアンプトーンを再現
- ・特にクリーントーン～ローゲインクランチが得意



■ブランド紹介

Tronographic は、ベース用とギター用のハイクオリティなプリアンプペダルを制作しています。特にユニークな70年代のソリッドステートアンプトーンを研究し、それを高い次元で再現。古い時代のトーンを今に甦らせます。

■商品説明

Tronographic Boxidizerは、特にエレクトリックギターに最適化して制作された楽器用のプリアンプペダルです。

1970年代の“ハイゲイン”なソリッドステートアンプのトーンを再現しながら、現代的な機能を持たせて再構築しました。

Input Gain、Bass/Middle/Treble EQ、Master VolumeコントロールやBoostフットスイッチを搭載。トゥルーバイパスで、DIとしても使用可能なバランスドアウトプットを有しています。

●特徴

- ・Gainコントロールで正確なゲイン、ドライブ設定が可能
- ・3バンドEQによりギターのトーンを詳細に設定
- ・ブーストレベルをコントロールできるBoostモード
- ・バランスドアウトプット(600Ω)によりDIとしても使用可能
- ・トゥルーバイパス

●基本的な使い方

- ・エフェクターとして

Boxidizerは、お使いのシステムの中に手軽に組み込むことができます。エフェクトチェインやエフェクトループ、アンプ側のプリアンプ前後などに接続することができます。

楽器側のケーブルをInputに、アンプ側のケーブルをMainアウトプットに接続して使用します。

・DIボックスとして

BoxidizerのDIアウトプットは600Ωのバランスドアウトプットとして使うことができます。このアウトプットをDIボックスとして使用する場合TRSケーブルを使用します。このケーブルはミキシングボード等のバランスドオーディオデバイスに接続します。ここからの出力は、本体のVolumeノブを通さずにシグナルを出力するため、常にフルボリュームとなります。また、同時にMainアウトプットからの出力をモニターアンプ用に使用する等、同時出力が可能ですが、バイパス時にはMainアウトプットのみからシグナルが出力され、DIアウトプットはミュートされます。

・プリアンプとして

BoxidizerのDIアウトプットは、フルボリュームのアンバランスドオーディオシグナルを出力します。本体のVolumeノブを通さずにシグナルを出力するため、Input Volumeコントロールを使用してパワーアンプのドライブさせることができます。エフェクターとしてやDIボックスとしての使用法と組み合わせ、モニターアンプやラインアウトとアンプのインプットを組み合わせる等、様々な使い方が可能です。DIアウトプットはMainアウトプットと同時に出力が可能ですが、バイパス時にはMainアウトプットのみからシグナルが出力され、DIアウトプットはミュートされます。

※文章・画像を許可なく複製、転載することはご遠慮ください。

正規輸入代理店 株式会社 LEP INTERNATIONAL
お問い合わせ world.9v@gmail.com

定価: オープンプライス

JANコード: 4560440839043

※価格、その他商品に関するご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。